

持続的な企業価値の創造のための IR/コミュニケーション戦略に関する実態調査

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

企業価値に対する関心が高まっています。グローバル資本主義が進展する中、持続的に企業価値を創造できなければ、市場から淘汰される時代になりつつあるためです。

こうした持続的な企業価値の創造のためには、企業と投資家の間での円滑かつ安定的なコミュニケーション活動を展開することが不可欠です。さらにそうした円滑かつ安定的なコミュニケーション活動を展開するためには、企業価値の創造をめぐり、企業と投資家の間で共通した問題意識や価値観を持つておくことが不可欠です。とはいえ、近年ますます企業と投資家との間での円滑かつ安定的なコミュニケーションを阻害するような事象が進展しています。米国や英国ではにわかに進展しつつある投資家の短期志向についての懸念もその一つです。短期的な業績目標への達成へのプレッシャーは、企業の長期的かつ持続的な価値創造にネガティブな影響を与えると考えている企業関係者も少なくないようです。一方、事業の不確実性が高まりつつある中で、中期経営計画などで提示される経営目標が未達で終わるケースに対して、企業の経営実行力を問う声が投資家の間で高まりつつあります。

我々は、企業と投資家との間の意識ギャップを埋めていくため、企業人、投資家、政策関係者（経済産業省、金融庁、東京証券取引所）、有識者などから構成される企業報告ラボトリー(Corporate Reporting Laboratory; CR ラボ)を設置しました。CR ラボでは、こうした意識ギャップを克服し、企業の持続的な価値創造を促す取り組みを積極的に進めていく予定です。こうした取り組みの一環として、われわれは、日本の上場企業の情報開示を担当されている皆様を対象に、日本企業の企業価値創造活動の実態を確認するアンケートを実施することにしました。日本企業の価値創造活動に対する問題意識や価値観、活動内容などの実態を確認することが肝要であると考えたためです。当該データを定量的に解析することで、持続的な企業価値創造活動にあたってのコミュニケーション活動のあるべき姿を検討したいと考えております。調査結果につきましては、国内外の主要な投資家に対してフィードバックを行い、投資家と企業とのコミュニケーションギャップを埋めるために活用させていただきます他、IR 戦略や行動のベストプラクティスを検討するために活用させていただきます。ご協力いただいた方には調査結果も含めた報告書を送付させていただきますと考えております。

本質問票調査はあくまで研究活動の一環として実施するものです。貴社およびご回答者の許可なくして、お名前を出しご迷惑をおかけすることは絶対にございませぬ。

お忙しいところご面倒とは存じますが、ぜひご協力下さいますようお願い申し上げます。

2012年11月

- ご回答は**御社の情報開示を担当されている責任者もしくはそれに準ずる方**にお願いいたします。
- 質問の順番にお答え下さい。
- ご記入は、鉛筆もしくは黒・青のボールペンをお使い下さい。
- ご記入いただいた調査用紙は、大変お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて**11月30日（金）までにご投函下さいますようお願い申し上げます。**
- 調査にご協力下さいました方には、調査結果をフィードバックいたします。
- 調査結果を送らせていただく際の宛名といたしますので、お手数ですが、会社名、部署、回答者氏名、住所についてお知らせください。なお調査終了後に、返信いただいた調査票はシュレッダーをかけて必ず廃棄いたします。
- 本調査に関するお問い合わせ等ございましたら、下記までご連絡下さい。

連絡先

問1 **御社における企業価値に対する認識**についてご回答ください。

(1) 御社では、企業価値の創造や業績目標をめぐる活動方針としてどのくらいの期間を目途として策定するのが適切であると考えていますか。また現状における企業の活動実態はどのようなものですか。下記の中でもっとも**御社に近い状況にあると考えられる項目1つに○印**をご記入ください。

	10年	5年	3年	1年	半期	四半期
①理想	6	5	4	3	2	1
②現状	6	5	4	3	2	1

(2) 御社では、**持続的な企業価値の創造の実現を目指すにあたって、課題となっている要素**は何ですか。該当するもの**すべてに○印**をご記入ください。

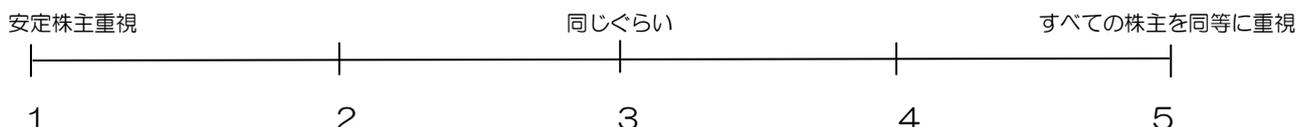
1	経営のグローバル化	2	海外企業との競争激化	3	商品・サービスライフサイクルの短期化
4	新規事業への進出	5	既存事業からの撤退	6	雇用法制
7	法令順守等の規制強化	8	投資家からのプレッシャー	9	敵対的買収への脅威
10	為替レート・円高	11	業績予想制度	12	四半期決算の開示制度
13	社内の情報共有・連携不足	14	企業価値への認識の社内非共有	15	社外取締役・監査役
16	業績連動報酬/株式報酬制度	17	内部統制監査	18	その他()

上記の中で**特に御社で課題となっている**と考えるものから順に**3つ以内**で項目番号を下記にご記入ください。

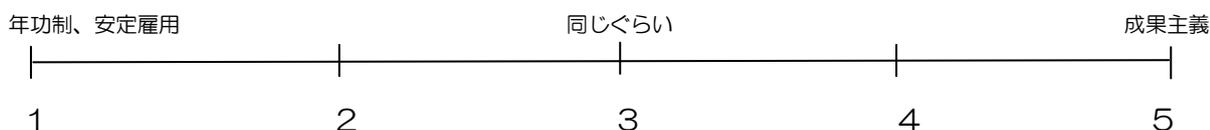
1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

(3) 御社がステークホルダーとの関係構築にあたって、各ステークホルダーとの関係の構築にあたっての方針と**最も近いもの1つにそれぞれ○印**をご記入ください。

①株主



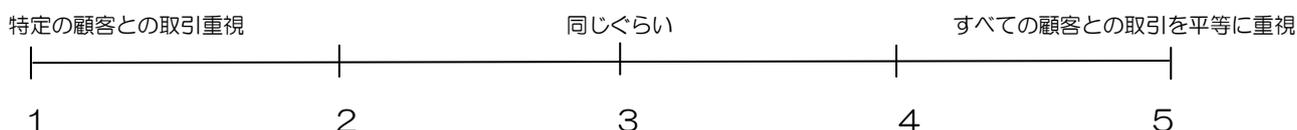
②従業員



③取引先(仕入れ先)



④顧客



(4) 御社において特に重視するステークホルダーは誰ですか。重視するステークホルダーすべてに○印をご記入ください。

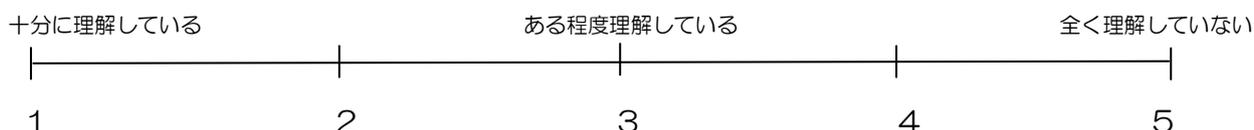
1	顧客	2	従業員	3	サプライヤー・仕入れ先
4	個人株主	5	国内機関投資家	6	海外機関投資家
7	証券アナリスト	8	銀行	9	銀行以外の債権者
10	流通業者	11	地域社会・地域住民	12	地球環境
13	パートナー・提携企業	14	その他 ()		

上記の中で特に御社で重視しているステークホルダーから順に3つ以内で項目番号を下記にご記入ください。

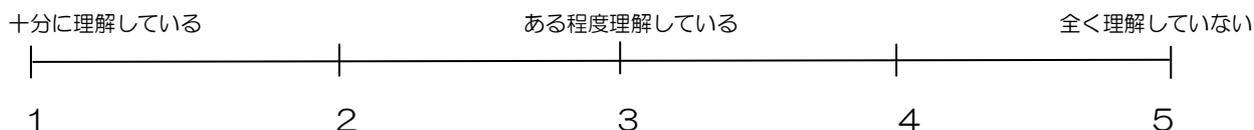
1位		2位		3位	
----	--	----	--	----	--

(5) 御社における現在の多くの投資家に対する認識として該当するものに1つに○印をご記入ください。

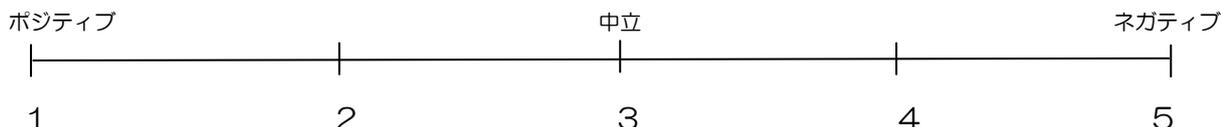
①企業の長期的な競争優位の構築のための活動



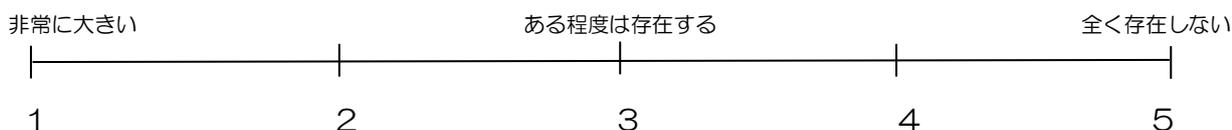
②環境経営、社会貢献やCSRにかかわる活動



③株主・投資家対応が企業の持続的な価値創造に与える影響



④投資家とのコミュニケーションから得られる経営活動への示唆



(6) 御社が持続的な企業価値創造を実践することを目指す場合に、投資家とのコミュニケーションにおいて特に課題と感じている点は何ですか。想起されるものがございましたら、何でも結構ですので自由にご回答ください。

問2 御社における経営理念等や企業文化に対する認識についてご回答ください。

(1) (a)自社の経営理念や共通の価値観について、浸透させる取り組みを実施していますか。(b)その取り組みを実践している場合、それは下記のそれぞれの対象に対して、どれくらいの頻度で実施されていますか。

(a)浸透させる取り組み

1	実施している	2	実施していない
---	--------	---	---------

(b)取り組みの頻度

	週次	月次	四半期	半期	一年	適宜	なし
経営者クラス	1	2	3	4	5	6	7
部門長クラス	1	2	3	4	5	6	7
マネージャークラス	1	2	3	4	5	6	7
一般社員クラス	1	2	3	4	5	6	7

※経営者クラスには取締役・執行役員など、部門長クラスには事業部長や開発・生産・営業部長、工場長など、マネージャークラスには課長・室長・係長など、一般社員クラスにはそれ以外のメンバーを含む。

(2) 御社では、経営理念や共通の価値観がどのような役割を果たしていますか。下記の中で、それぞれ該当するもの1つに○印をご記入ください。

	他の要素に比べて頻繁に議論することが多いなど非常に重視している	他の要素以上に相対的には重視している	必ず議論されるとは限らないが、他の要素以上に相対的には重視している	他の要素と同様に重視している	相対的に重視していない	全く重視していない	わからない
(a) 中期経営計画の策定	1	2	3	4	5	6	
(b) 経営目標の策定	1	2	3	4	5	6	
(c) 新規事業の進出	1	2	3	4	5	6	
(d) 既存事業からの撤退	1	2	3	4	5	6	
(e) 予算・投資配分	1	2	3	4	5	6	
(f) イノベーション活動	1	2	3	4	5	6	
(g) 業績評価指標の選出	1	2	3	4	5	6	
(h) 従業員教育・研修	1	2	3	4	5	6	
(i) グローバル展開	1	2	3	4	5	6	

(3) 投資家は御社の経営理念や共通の価値観をどれほど重視していますか。①接触頻度の高い投資家、②御社のターゲットとなる投資家それぞれについての理解度として最も近いものに○印をご記入ください。

	非常に重視	やや重視	中立	やや軽視	軽視
①接触頻度の高い投資家	1	2	3	4	5
②ターゲットとなる投資家	1	2	3	4	5

問3 御社における中期経営計画や経営目標についてご回答ください。

(1) 御社では、中期経営計画、長期経営計画など3年以上にわたる経営計画を策定していらっしゃいますか。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→「2.いいえ」とご回答いただいた方は、問2からご回答ください。

(2) 御社では、(1)で取り上げた経営計画を開示ないしは公表していますか。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→「1」とご回答いただいた場合は、どのようなかたちで公表しているか。下記の中から該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	決算発表会	2	決算短信	3	株主総会
4	経営計画説明会	5	アニュアル・レポート	6	ニュースリリース
7	自社ホームページ	8	有価証券報告書	9	個人投資家説明会
10	機関投資家等説明会	11	アナリスト説明会	12	その他

(3) 御社の経営計画において、経営目標を掲げていますか。掲げている場合には、どのような経営目標を掲げていますか。ご回答ください。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→「1」とご回答いただいた場合は、どのような経営目標を掲げているか、該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	売上高	2	営業利益	3	経常利益
4	当期純利益	5	包括利益	6	EVA（経済的付加価値）
7	売上高営業利益率	8	ROA	9	ROE
10	ROIC	11	営業キャッシュ・フロー	12	フリー・キャッシュ・フロー
13	配当性向	14	1株当たり配当	15	DOE（株主資本配当率）
16	総還元性向	17	WACC（資本コスト）	18	EPS（一株当たり利益）
19	EBITDA	20	自己資本比率	21	ネットD/Eレシオ
22	有利子負債期末残高	23	キャッシュ・コンバージョン・サイクル（CCC）※	24	業務純益
25	その他（ ）				

※CCC = 棚卸資産回転日数 + 売上債権回転日数 - 仕入債務回転日数

→上記で取り上げた業績目標の中で特に御社で重視している指標は何ですか。重視する順に上位3項目の番号をご記入ください。

※番号は上記の項目をお答えください。たとえば、ROAならば「8」とご記入ください。

第1位	()	第2位	()	第3位	()
-----	-----	-----	-----	-----	-----

(4)御社では経営計画の進捗の確認・見直しのためのミーティング等をどのような期間で実施されますか。下記の中から該当するものすべてに○印をご記入ください。

	週次	月次	四半期	半期	一年	適宜	なし
経営者クラス	1	2	3	4	5	6	7
部門長クラス	1	2	3	4	5	6	7
マネージャークラス	1	2	3	4	5	6	7
一般社員クラス	1	2	3	4	5	6	7

※経営者クラスには取締役・執行役員など、部門長クラスには事業部長や開発・生産・営業部長、工場長など、マネージャークラスには課長・室長・係長など、一般社員クラスにはそれ以外のメンバーを含む。

(5) (a)御社では経営計画の進捗の確認のために定点観測するための業績評価指標を測定していますか。ご回答ください。(b)測定している場合、取締役会や役員会で積極的に議論されるなど、特に御社で重視されている指標を10つ以内でご記入ください。

(a) 定点観測のための業績評価指標の測定の有無

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(b) 重視している指標

①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
⑨	⑩

(6) 御社では経営目標・計画を着実に実現するため、経営目標・計画の達成度と結びつけた業績連動報酬制度を導入していますか。

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(7) 御社で仮に経営目標や経営計画が達成できなかった場合、御社ではどのようにその状況を投資家に説明するケースが多いですか。御社で説明することの多い内容について該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	目標や計画未達の外的原因（外的環境の変化等）の開示	2	目標や計画未達の内的原因（組織や企業内での課題等）の開示
3	原因分析に基づく新戦略とそれに基づく目標や計画の開示	4	経営責任の明確化（経営者報酬の減少や辞任、体制の見直し等）とそれへの対応の開示
5	業績評価指標の見直しなどの開示	6	参入や撤退要件など基本方針の確認とそれに基づく行動計画の開示
7	目標や計画の未達に対しては投資家に積極的に説明しない		
8	その他（ ）		

(8) (a) 自社の資本コストを意識されていますか。意識されているとした場合に、どれくらいの水準と認識されているか基準となっている数値がありましたら、ご記入ください。

(b) そうした資本コストを意識している姿勢を投資家に対して積極的に開示していますか。

(c) そうした資本コストは、企業内でどれほど強く意識されて、経営活動が実践されていますか。資本コストを意識する活動として該当するものすべてに○印をご記入ください。

(a) 資本コストへの意識

1	はい (約 %)	2	いいえ
---	----------	---	-----

(b) 開示している

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(c) 経営行動への反映

1	設備投資など資本的支出	2	既存事業からの撤退	3	投資・予算配分の決定
4	新規事業への進出	5	海外事業への進出	6	資金調達行動・資本構成
7	株主還元 (配当・自社株取得)	8	IR 活動	9	経営者報酬の決定
10	教育・啓蒙活動	11	その他 ()		

(9) (a) 経営活動の中で ROE を意識されていますか。ご記入ください。また「いいえ」と回答された場合、ROA などその他の利益率指標を意識されている場合には、御社で強く意識されている利益率指標をご記入ください。

(b) そうした利益率指標を開示活動において積極的に活用していますか。

(c) ROE や ROIC は資本コストを上回っていますか。該当するもの 1 つに○印をご記入ください。

(d) (a) で掲げた利益率指標は経営活動のどのような側面で意識されていますか。該当するものすべてに○印をご記入ください。

(a) ROE を意識している

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

「いいえ」と回答した場合 → 重視している利益率指標 ()

(b) 利益率指標を開示活動に活用

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(c) 資本コストとの関係

1	はい	2	いいえ	3	意識したことはない
---	----	---	-----	---	-----------

(d) 経営行動への反映 (a) で何らかの利益率指標をあげている場合のみご回答ください。

1	設備投資など資本的支出	2	既存事業からの撤退	3	投資・予算配分の決定
4	新規事業への進出	5	海外事業への進出	6	資金調達行動・資本構成
7	株主還元 (配当・自社株取得)	8	IR 活動	9	経営者報酬の決定
10	教育・啓蒙活動	11	その他 ()		

問4 **御社の情報開示・IR活動**についてご回答ください。

(1) 御社では、どのステークホルダーを重視して、情報開示活動を行っていますか。該当するステークホルダーの番号に○印をご記入ください。

1	顧客	2	従業員	3	サプライヤー・仕入れ先
4	個人株主・個人投資家	5	国内機関投資家	6	海外機関投資家
7	証券アナリスト	8	銀行	9	銀行以外の債権者
10	流通業者	11	地域社会・地域住民	12	地球環境
13	パートナー・提携企業	14	その他 ()		

上記で選択されたステークホルダーのうち、とりわけ注力しているステークホルダーの番号を **3つ以内**でお答えください。

() 番	() 番	() 番
-------	-------	-------

(2) 御社がターゲットとしている重要な投資家に対して、御社のどのような面の理解を促すことを狙いとしてコミュニケーション活動を展開していますか。それぞれについて該当するもの **1つ**に○印をご記入ください。

	重 視 非 常 に	重 視	視 や や 重	重 視 あ ま り せ り	視 全 く 重 せ ず	な い か ら
事業環境の変化や状況	1	2	3	4	5	6
業績の状況や変化	1	2	3	4	5	6
中期計画や業績予想等の将来情報	1	2	3	4	5	6
中期計画の達成状況やその見直し	1	2	3	4	5	6
企業価値向上の方針や状況	1	2	3	4	5	6
コーポレート・ガバナンス	1	2	3	4	5	6
株主還元や内部留保の方針や状況	1	2	3	4	5	6
新規投資や事業撤退の方針や状況	1	2	3	4	5	6
持続的な競争優位向上に向けた取組	1	2	3	4	5	6
リスク管理に関する取り組み	1	2	3	4	5	6
環境や社会貢献に向けた取組	1	2	3	4	5	6

(3) 御社と接触頻度の高い投資家は(2)で掲げた情報をどれほど重視しているように感じていますか。それぞれについて該当するもの **1つ**に○印をご記入ください。

	重 視 非 常 に	重 視	視 や や 重	重 視 あ ま り せ り	視 全 く 重 せ ず	な い か ら
事業環境の変化や状況	1	2	3	4	5	6
業績の状況や変化	1	2	3	4	5	6
中期計画や業績予想等の将来情報	1	2	3	4	5	6
中期計画の達成状況やその見直し	1	2	3	4	5	6
企業価値向上の方針や状況	1	2	3	4	5	6
コーポレート・ガバナンス	1	2	3	4	5	6
株主還元や内部留保の方針や状況	1	2	3	4	5	6
新規投資や事業撤退の方針や状況	1	2	3	4	5	6
持続的な競争優位向上に向けた取組	1	2	3	4	5	6
リスク管理に関する取り組み	1	2	3	4	5	6
環境や社会貢献に向けた取組	1	2	3	4	5	6

(4) 持続的な企業価値創造の観点から極めて重要であるにもかかわらず、接触頻度の高い投資家からあまり問われない情報としてどのようなものがありますか。自由回答にてお答えください。

--

(5) 下記の開示情報について、(a)投資家からの問い合わせや関心がどれほど高いと感じていますか。(b)投資家との安定的な関係を構築し、持続的な企業価値の創造を促進させるためどのような影響を与えていると感じていますか。(a)(b)それぞれ該当するものに1つに○印をご記入ください。

開示情報への問い合わせ・関心の高さ、 持続的な価値創造活動への影響	(a)関心の高さ							(b)価値への影響		
	高い 非常に	高い	普通	やや 低い	ほと んど ない	わ か ら ない	イ ン フ ラ ク テ	中 立	ネ ガ テ ィ ブ	
a	連結財務諸表など財務情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
b	連結財務諸表の脚注・補足情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
c	個別財務諸表	1	2	3	4	5	6	1	2	3
d	四半期財務諸表	1	2	3	4	5	6	1	2	3
e	四半期レビュー	1	2	3	4	5	6	1	2	3
f	業績予想	1	2	3	4	5	6	1	2	3
g	内部統制監査報告	1	2	3	4	5	6	1	2	3
h	経営者の業績見通し	1	2	3	4	5	6	1	2	3
i	中期経営計画	1	2	3	4	5	6	1	2	3
j	経営目標	1	2	3	4	5	6	1	2	3
k	事業等のリスクに関する情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
l	コーポレート・ガバナンス	1	2	3	4	5	6	1	2	3
m	役員報酬	1	2	3	4	5	6	1	2	3
n	リスクマネジメント情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
o	環境経営に関する情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
p	雇用や人材活用に関する情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
q	CSR・社会貢献に関する情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3
r	事業の概況	1	2	3	4	5	6	1	2	3
s	ビジネスモデルや戦略情報	1	2	3	4	5	6	1	2	3

(6) (a)IR 活動の結果など株主・投資家からの声を社内にフィードバックしていますか。(b)そのフィードバックの対象として該当するレベルすべてに○印をご記入ください。

(a)株主・投資家からの声の社内フィードバック

1	実施している	2	実施していない
---	--------	---	---------

(b)研修対象

	経営者クラス	部門長クラス	マネージャークラス	一般社員クラス
フィードバック	1	2	3	4

(7) 情報開示活動の目標や狙いについてお聞きします。項目ごとに1つに○印をご記入ください。

- a. 御社では、各項目をどの程度重視していますか。
 b. 各項目について、御社の情報開示活動の効果をお答えください。
 c. 御社で定量的な目標を設定している項目はありますか。

情報開示活動の目的・ねらい		a			b			c	
		重視している	どちらともいえない	重視していない	効果あり	どちらともいえない	効果なし	定量目標設定あり	定量目標設定なし
a	適切な株価の形成	1	2	3	1	2	3	1	2
b	資金調達コストの低減	1	2	3	1	2	3	1	2
c	安定株主の増加	1	2	3	1	2	3	1	2
d	株主との信頼関係の構築	1	2	3	1	2	3	1	2
e	債権者（社債権者・銀行）との信頼関係の構築	1	2	3	1	2	3	1	2
f	個人株主数の増加	1	2	3	1	2	3	1	2
g	外国人株主数の増加	1	2	3	1	2	3	1	2
h	株式売買高の増加	1	2	3	1	2	3	1	2
i	投資家（株主・債権者）に対する企業・事業内容の理解促進	1	2	3	1	2	3	1	2
j	投資家（株主・債権者）に対する経営戦略の伝達、理解促進	1	2	3	1	2	3	1	2
k	お取引先に対する経営戦略の伝達、理解促進	1	2	3	1	2	3	1	2
l	従業員に対する経営戦略の伝達、理解促進	1	2	3	1	2	3	1	2
m	地域住民や地域社会との信頼関係構築	1	2	3	1	2	3	1	2
n	CSR(社会的責任・貢献活動)の一環	1	2	3	1	2	3	1	2
o	企業の認知度向上	1	2	3	1	2	3	1	2
p	企業イメージ・企業ブランドの向上	1	2	3	1	2	3	1	2
q	企業価値の創造	1	2	3	1	2	3	1	2
r	経営に有用な情報のフィードバック	1	2	3	1	2	3	1	2

(8) 御社で円滑な IR 活動を実践するにあたって、障害となっている要素として該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	競争優位の源泉となる情報の社外流出	2	価格交渉力の低下
3	社内で IR の意義が共有されていない	4	Fair Disclosure（公平開示）などの規則
5	四半期開示など法定開示頻度の多さ	6	社内における情報共有・連携の不足
7	企業経営者による IR 活動への理解不足	8	その他

問5 御社のコーポレート・ガバナンスに関する取り組みやその開示状況についてご回答ください。

(1) (a) 御社では、株主や投資家からの信頼感を向上させ、企業価値を持続的に向上させるため、どのような取り組みを実施されていますか。(b) またそうした取り組みを株主や投資家に向けて開示していますか。それぞれ該当するもの **1 つ**に○印をご記入ください。

	(a)				(b)
	い ない 実 施 し て	い る 実 施 し て 意 識 し て	し て い る し て 実 施 し て 特 に 重 視		
企業統治に関する基本方針の策定	1	2	3	→	1
取締役の独立要件の提示・徹底	1	2	3	→	1
独立取締役の構成比率	1	2	3	→	1
取締役会議長とCEOの分離	1	2	3	→	1
執行と監督の分離	1	2	3	→	1
取締役会規模の適正化	1	2	3	→	1
取締役会メンバーの多様化	1	2	3	→	1
主要なステークホルダーの声を経営に反映	1	2	3	→	1
業績悪化時や計画未達時における原因説明と今後の方針の適時開示	1	2	3	→	1
経営トップの任命プロセスの透明化	1	2	3	→	1
取締役の任命プロセスの透明化	1	2	3	→	1
経営者報酬の決定プロセスの透明化	1	2	3	→	1
取締役会における議論の活性化	1	2	3	→	1
長期保有株主との継続的な対話	1	2	3	→	1
社外取締役・社外監査役と会計監査人、内部統制、内部監査との連携	1	2	3	→	1

(2) 株主や投資家からの信頼感を向上させるコーポレート・ガバナンスの取り組みを実践するため、御社で特に問題となっていると感じている事象は何ですか。該当するもの**すべて**に○印をご記入ください。

1	公平開示(Fair Disclosure)ルール	2	社外取締役・監査役の適正人材の不足
3	株主や投資家の短期志向	4	監査役制度の説明のむずかしさ
5	社外取締役・監査役と内部統制・監査や会計監査人との連携	6	経営トップのコーポレート・ガバナンスに対する理解不足
7	株主や投資家に対する不信感の克服	8	その他

(3) (2) 以外で、持続的な企業価値の創造にあたって、御社の株主や投資家に対して期待している役割や機能などがございましたら、**自由にご記入**ください。

お答えを分類集計するためにおたずねします。

F 1. 御社のIR体制についてお聞きします。2011年1月現在における御社のIR体制について、該当するものに○印をご記入ください。なお「e. IR担当社員の人数」のみ、数値をご記入ください。

a	IR専任部署の有無	1. あり	0. なし
b	IR担当部門の管轄状況	1. 経営トップ直轄	0. トップ直轄ではない
c	IR担当部門の取締役会への参加状況	1. 参加	0. 不参加
d	IR担当部門の経営計画作成への関与の有無	1. あり	0. なし
e	IR担当社員の人数（兼務含む）	人	

F 2. 御社のIR担当者の最高職位として、該当するものすべてに○印をご記入ください。

1	役員クラス	2	部長クラス	3	課長クラス	4	その他
---	-------	---	-------	---	-------	---	-----

F 3. 御社の社内向けIRの実施状況およびIR担当部門の関与の有無についてお知らせください。

		実施の有無		IR担当部門の関与の有無	
①	(中期)経営計画の伝達	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし
②	年間計画の伝達	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし
③	社内向け決算発表説明会	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし
④	経営理念・ビジョン等の浸透	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし
⑤	自社の歴史についての説明	1. あり	0. なし	1. あり	0. なし

F 4. 御社における経営者によるIR活動として実践されているものすべてに○印をご記入ください。

1	大株主のみ	2	海外IR中心	3	主要な投資家数名のみ
4	大規模説明会のみ	5	その他		

F 5. 御社では、長期的な企業価値の創造のために、IR担当部門と経営企画担当部門との間での連携を意識していますか。該当するもの1つに○印をご記入ください。

1	意識している	2	意識していない	3	わからない
---	--------	---	---------	---	-------

F 6. あなたがお勤めの会社名、証券コード、部署名、お名前をご記入ください。調査結果のフィードバックに活用させていただきます。またもしお認めいただければ、少数の企業にインタビュー調査を実施させていただきたいと考えております。ご協力いただける場合には、お知らせください。

会社名		証券コード	
部署			
回答者氏名			
住所	〒		
インタビュー調査へのご協力の可否	協力してもよい	協力できない	

■ 長時間ご協力ありがとうございました。